

# 平成29年度 指導方法等の改善計画について 〔国語〕

**昨年度の課題と具体的に取り組んだ事項**

**【昨年度の課題】**

- 複数の資料から必要な情報を取り出し、それらを関連付けて論理的に説明する力が不十分であった。
- 段落相互の関係や中心となる語や文に注意しながら読み取る力が不十分であった。

**【取り組んだ事項】**

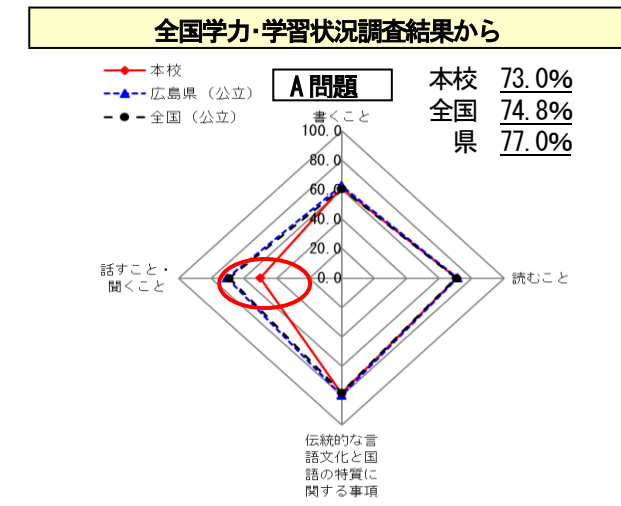
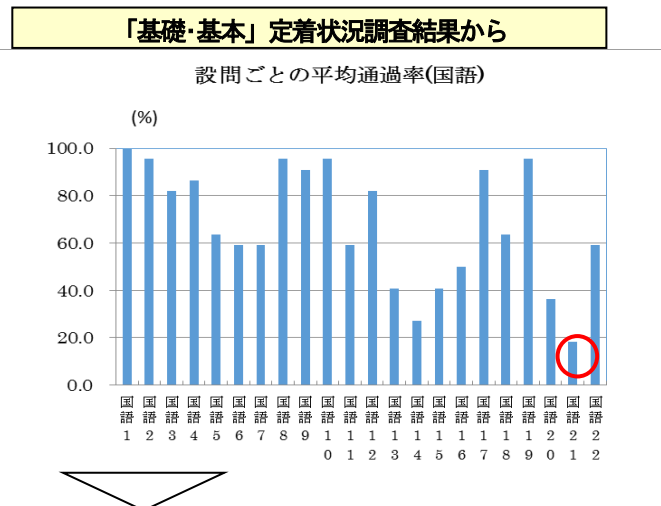
- 複数の資料を読み取り、必要なキーワードを見つけ関連付けて説明する授業を意識して行った。
- 帯タイムや家庭学習を使い、様々な種類の文章に触れさせ、段落相互の関係や中心となる語や文に着目しながら問題を解いていく経験を増やした。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率

	教科全体	タイプI	タイプII
本校	67.8%	71.2%	52.3%
県	68.0%	71.5%	52.4%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

	A問題	B問題
本校	73.0%	61.0%
全国	74.8%	57.5%
県	77.0%	61.0%



**重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査**

◎ 目的や必要に応じて情報を取り出し、それらを関連付けて書くことに課題がある。(五3通過率18.2%)

◇ 目的や意図に応じ、考えの共通点や相違点を整理しながら、聞いたり話したりする力が不十分である。(A問題 話すこと・聞くこと平均正答率50.0%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)**

◎ いろいろな文章や資料に触れる活動や、課題に合わせた記述・視写活動を取り入れ、根拠をもって自分の考えを書く学習に取り組ませる。

◇ 「話す・聞く」の学習や、朝の会等のスピーチタイムを活用し、伝える内容を整理して話したり、必要なことをメモして聞いたりする学習を増やす。

**来年度の目標値** 「基礎・基本」定着状況調査のタイプIIの通過率を53%以上にする。全国学力・学習状況調査A問題「聞くこと・話すこと」領域の平均正答率を55%以上にする。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	中間検証①(H29.12)			中間検証②(H30.2~3)			最終検証(H30.)		
			到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	到達目標値	実施後数値	
いろいろな文章や資料に触れる活動や、課題に合わせた記述・視写活動を取り入れ、根拠をもって自分の考えを書く学習に取り組ませる。	全校	自作の検証問題の平均通過率(5・6年)	40%			50%			「基礎・基本」定着状況調査のタイプIIの通過率	53%	
「話す・聞く」の学習や、朝の会等のスピーチタイムを活用し、伝える内容を整理して話したり、必要なことをメモして聞いたりする学習を増やす。	全校	単元末テストの「話す・聞く」平均通過率	75%			80%			全国学力・学習状況調査A問題「聞くこと・話すこと」領域の平均正答率	55%	

# 平成29年度 指導方法等の改善計画について [算数]

## 昨年度の課題と具体的に取組んだ事項

### 【昨年度の課題】

- 問題を解決する方法や情報を整理し、読み取ったり、自分の考えを筋道立てて説明したりする力が不十分であった。
- 図形（ひし形や平行四辺形）の性質の理解が不十分である。

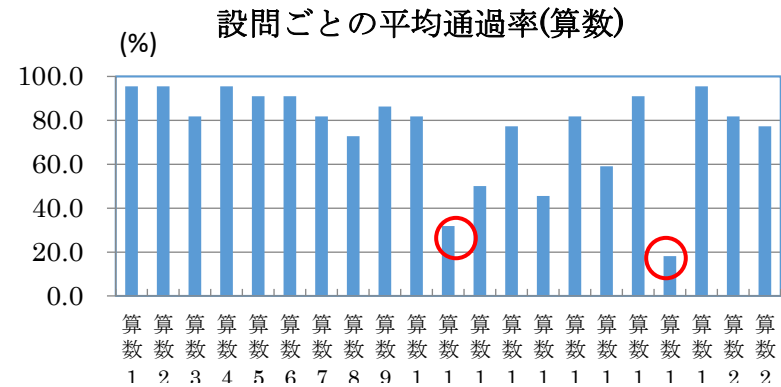
### 【取組んだ事項】

- 図・式・言葉を使って自分の考えを説明する活動を授業の中に取り入れた。
- さまざまな図形の性質について既習内容を振り返ることができるように、既習内容の掲示をする等環境を整えた。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率			
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	75.3%	76.1%	72.7%
県	74.3%	77.1%	65.4%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率		
	A問題	B問題
本校	73%	47%
全国	78.6%	45.9%
県	81%	47%

## 「基礎・基本」定着状況調査結果から



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ タイプI 量と測定 複合図形の面積 31.8%  
問題の意図の理解（何を求めればよいのか）が不十分であり正しく読み取れていない。
- ◎ タイプII 数量関係 2つの折れ線グラフの関連付け 18.2%  
グラフから読み取ったことを根拠に、示された事柄が正しくない理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- ◎ 必要なことを絵や図で示したり、言葉で表したりする活動を仕組み、問題を正しく読み取る力を育成する。
- ◎ グラフから数値を読み取って考えたり、いろいろなグラフを組み合わせて考えたりすることができるような練習問題に取り組む。誤答についてなぜ違うのか説明できる力を育てる。

## 来年度の目標値

○基礎基本のタイプIの平均通過率を78%以上にする。 ○基礎基本のタイプIIの平均通過率を66%以上にする。

中間検証①(H29.12)

中間検証②(H30.2~3)

最終検証(H30.)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値
必要なことを絵や図で示したり、言葉で表したりする活動を仕組み、問題を正しく読み取る力を育成する。	全校	単元末テスト「数学的な考え方」平均通過率【5・6年】	60%			単元末テスト「数学的な考え方」平均通過率【5・6年】	70%			「基礎基本」定着状況調査タイプI通過率	平均通過率を78%以上にする	
グラフから数値を読み取って考えたり、いろいろなグラフを組み合わせて考えたりすることができるような練習問題に取り組む。誤答についてなぜ違うのか説明できる力を育てる。	全校	自作の検証問題平均通過率【5・6年】	65%			自作の検証問題平均通過率【5・6年】	75%			「基礎基本」定着状況調査タイプII通過率	平均通過率を66%以上にする	

# 平成29年度 指導方法等の改善計画について 〔理科〕

廿日市市立津田小学校

## 昨年度の課題と具体的に取り組んだ事項

### 【昨年度の課題】

- 物の重さを比較する際、そろえておかなければならない条件(体積)を理解していなかった。
- 太陽の動きを方位を使って表現し、そのときの影の向きを太陽と関連付けて推測し説明することができていなかった。

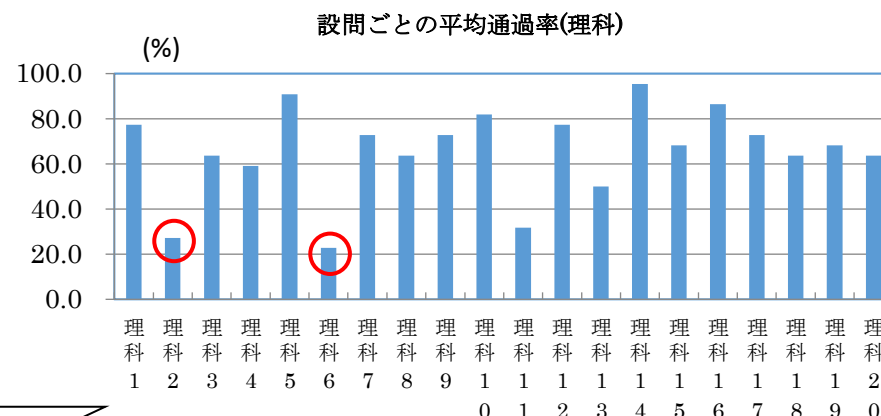
### 【取り組んだ事項】

- 理科用語を視覚的に理解できるように提示し、用具の正しい使い方や手順を丁寧に指導することにより基礎的な知識を定着させた。
- 観察や実験のめあてを明確にし、結果や考察をキーワードを使って自分の言葉でまとめる時間を確保した。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率			
	教科全体	タイプI	タイプII
本校	66.5%	71.2%	58.6%
県	61.7%	70.4%	51.0%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率		
本校		%
全国		%
県		%

## 「基礎・基本」定着状況調査結果から



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

- ◎ 鏡に反射した日光を重ねたときのあたたかさを説明することができない。  
③(1) 日光を重ねたときのあたたかさ 通過率 22, 7%
- ◎ 空気でっぼうの前玉が飛ぶ理由を検証する実験道具を選択することができない。  
①(2) 適切な検証方法の選択 通過率 27, 3%

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

- ◎予想と実験の結果を比較し、や考察を自分の言葉で端的に表現するなど結果から分かったことを自分のことばでまとめる活動を積極的に取り入れる。また、理科用語を他の理科用語と関連付けて視覚的に理解できるよう提示していく。
- ◎論理的に物事を考え、根拠を明確にして的確に答える力を養う必要がある。そのために、学習問題について、自分の予想をもたせ、問題を解決するための方法(実験計画等)を考えさせる活動を仕組む。そして、結果を予想する際に、その根拠をつけて分かりやすく表現する活動を取り入れる。小グループを活用し、話し合う場・教え合う場の設定を行うことで授業の工夫改善を進めていく。

来年度の目標値 ○タイプIの平均通過率を70%以上にする。○タイプIIの平均通過率を52%以上にする。

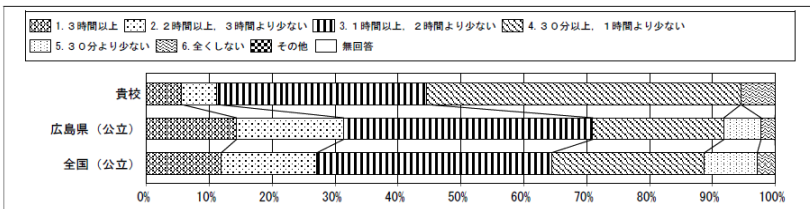
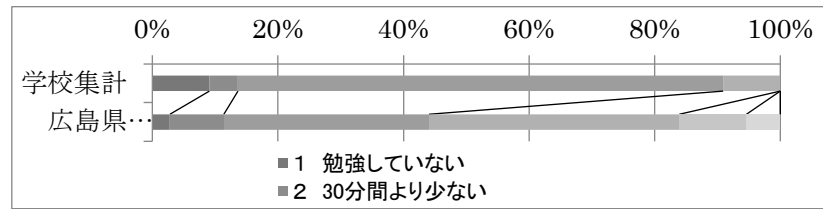
中間検証①(H29.12)

中間検証②(H30.2~3)

最終検証(H30.8)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法	対象	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値	進捗状況・改善方策	成果指標(方法)	到達目標値	実施後数値
実験の考察を自分の言葉で端的に表現するなど授業内容を自分のことばでまとめる活動を積極的に取り入れる。	3年以上	自作の検証問題の平均通過率	60%			自作の検証問題の平均通過率	65%			「基礎・基本」定着状況調査 タイプI 通過率	平均通過率を70%以上にする。	
理科の実験を行う際に、与えられた条件を明確にし、結果を予想する際に、その根拠をつけて分かりやすく表現する活動を積極的に取り入れ、予想と比較して結果をまとめる活動を行う。	3年以上	自作の検証問題の平均通過率	55%			自作の検証問題の平均通過率	60%			「基礎・基本」定着状況調査 タイプII 通過率	平均通過率を52%以上にする。	

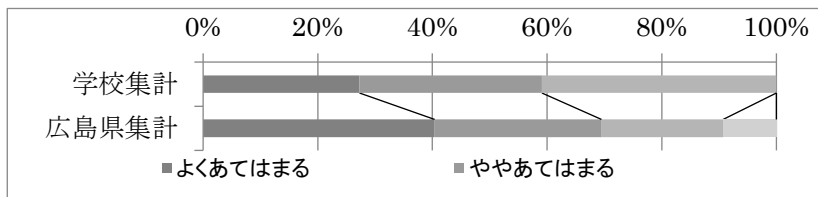
(1) 生活・学習



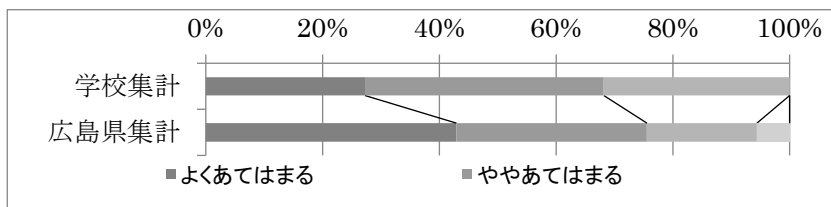
	児童の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	ふだん(月曜日～金曜日)家では、1日何時間くらい勉強していますか。 1時間以上 9.1%	自主学习ノートを用意し、家庭学習として取り組ませる。	5・6年	学校がある日に、家でも1時間以上勉強している児童の割合60%	児童アンケート	2月		
全国	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 1時間以上 44.5%							

(2) 教科

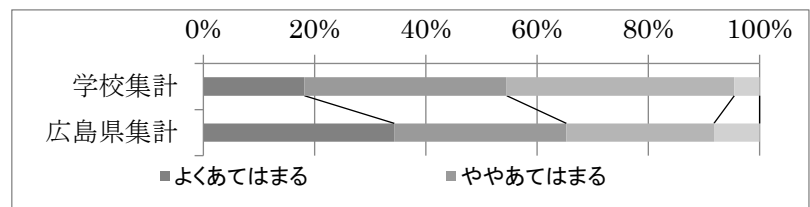
分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



とき方や考え方を絵や図などに表して考えています。



自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。 肯定的評価 59.1%	国語だけではなく、他教科においても、分からない言葉や漢字を辞書で調べる時間を設定し、辞書を引く機会を増やす。	3～6年	分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べる児童の割合70%	児童アンケート	2月		
	全国 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。 肯定的評価 66.7%	朝の会などでスピーチに取り組んだり、ペアやグループで交流する機会を増やしたりして、友達のよい話し方を認め合い、学び合う。	1～6年	うまく伝わるように話の組み立てを工夫している児童の割合75%	児童アンケート	2月		
算数	基礎・基本 とき方や考え方を絵や図などに表して考えています。 肯定的評価 68.2%	問題の読み取りの際、ノートに絵や図を使って考え方を書き出し、答えを導き出す機会を増やす。	1～6年	算数の授業で問題のとき方や考え方が分かるようにノートに書いている児童の割合75%	児童アンケート	2月		
	全国 算数の授業で問題のとき方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。 肯定的評価 83.4%							
理科	基礎・基本 自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。 肯定的評価 54.6%	自分の意見や考えを、ペアやグループで交流する機会を増やし、友達のよい話し方を認め合い、学び合う。	3～6年	自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりする児童の割合70%	児童アンケート	2月		

